

東日本大震災における J M A T 活動について

2016年3月23日

日本医師会 定例会見

JMAT：日本医師会災害医療チーム

- “Japan Medical Association Team”
- 日本医師会が、医師のプロフェッショナルオートノミーに基づき、被災地外の都道府県医師会ごとにチームを編成、被災地の医師会からの要請に基づいて派遣を行う。避難所等における医療・健康管理活動を中心として、主に災害急性期以降を担う。
- 東日本大震災一年前、日本医師会の会内委員会より創設が提言。震災直前まで、研修方法を検討していた。
- 派遣終了（2011年7月15日）後も、被災地の状況を鑑み、JMAT II（災害関連死などの未然防止、仮設診療所や被災地の医療機関への医師派遣等）の派遣を継続。

JMATの役割

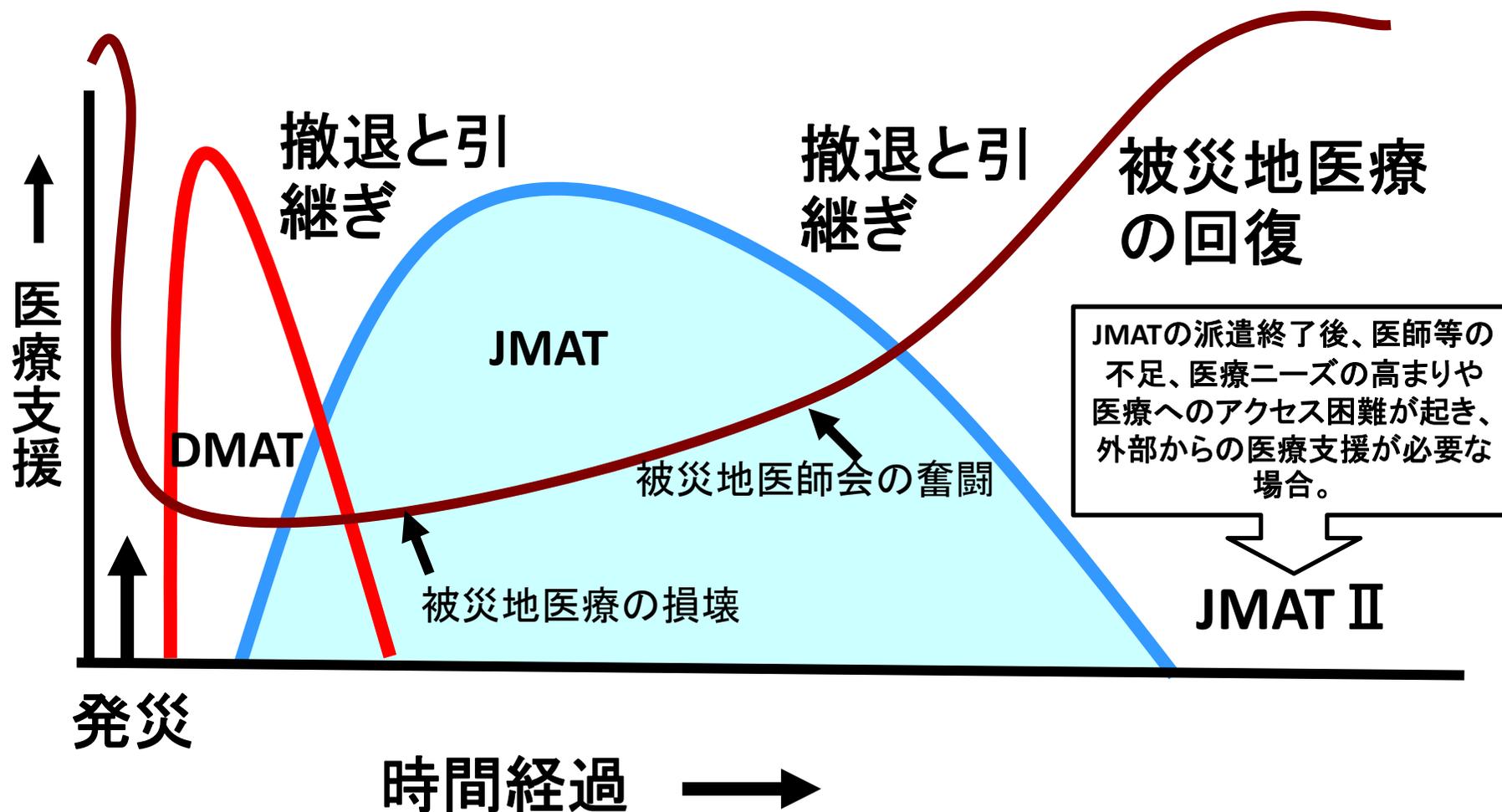
- 避難所、救護所における医療
- 被災地の病院、診療所への診療支援
 - ① 被災地における医療、被災者・住民の健康管理
 - ② 避難所等の公衆衛生対策：感染症対策、避難者の健康状態、食生活の把握と改善
 - ③ 在宅患者の医療、健康管理
 - ④ 派遣先地域の医療ニーズの把握と評価
 - ⑤ 医療支援が行き届いていない地域（医療支援空白地域）の把握、及び巡回診療等の実施
 - ⑥ 現地の情報の収集・把握、共有
 - ⑦ 被災地の医療関係者間の連絡会の設置支援
 - ⑧ 患者移送
 - ⑨ 再建後の被災地医療機関への引継ぎ

JMAT派遣終了後の中長期医療支援

JMAT II

- **災害関連死などの未然防止が、最大の目標。**
- 特に仮設住宅孤独死、心のケアの必要性等に十分な配慮。
- 医師、及び医師を含むチーム構成。
- JMATの派遣終了後、**医師等の不足、住民の医療ニーズの高まりや住民の医療へのアクセス困難の深刻化**が起きた地域であって、外部からの医療支援が必要な場合。
- **被災地の都道府県医師会からの要請が原則。**

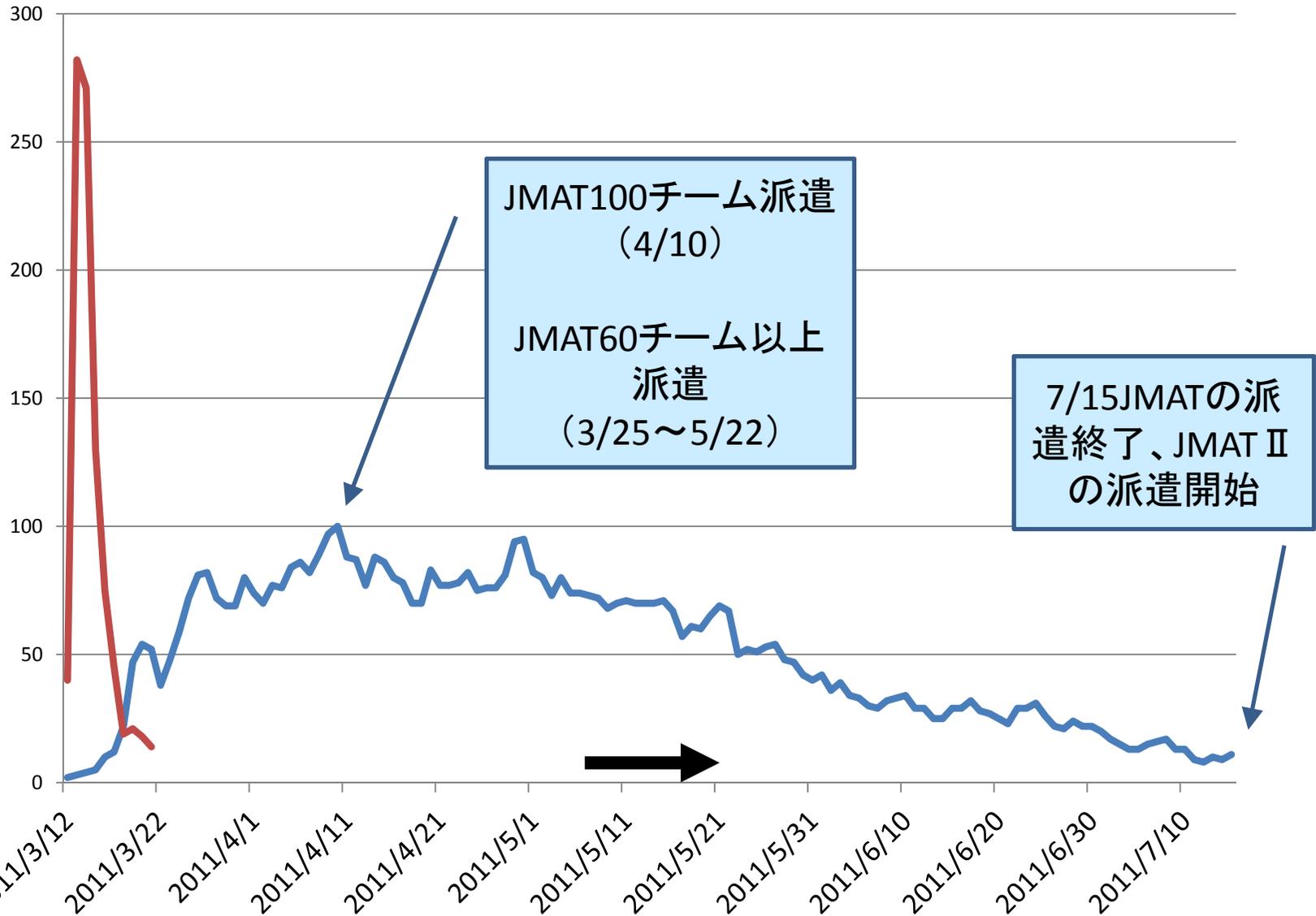
DMATとJMATの役割分担（概念図）



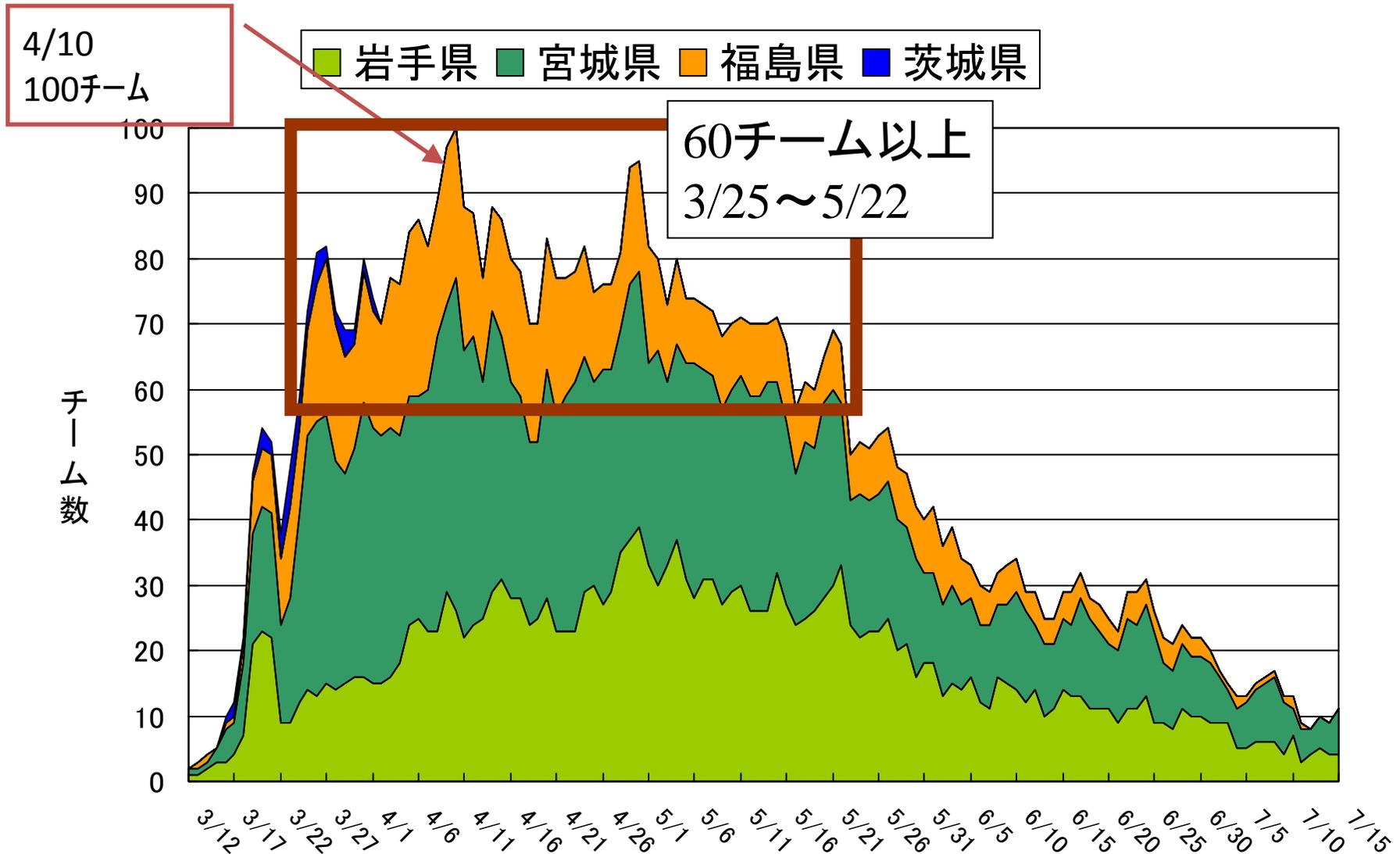
日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」(平成24年3月10日)資料
(「DMATとJMATの連携」(小林國男 日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長(当時))

東日本大震災におけるJMAT、DMATの派遣数 (～2011年7月15日)

— JMAT — DMAT



JMATの派遣状況(～2011年7月15日)



日にち(2011年3月12日～7月15日)

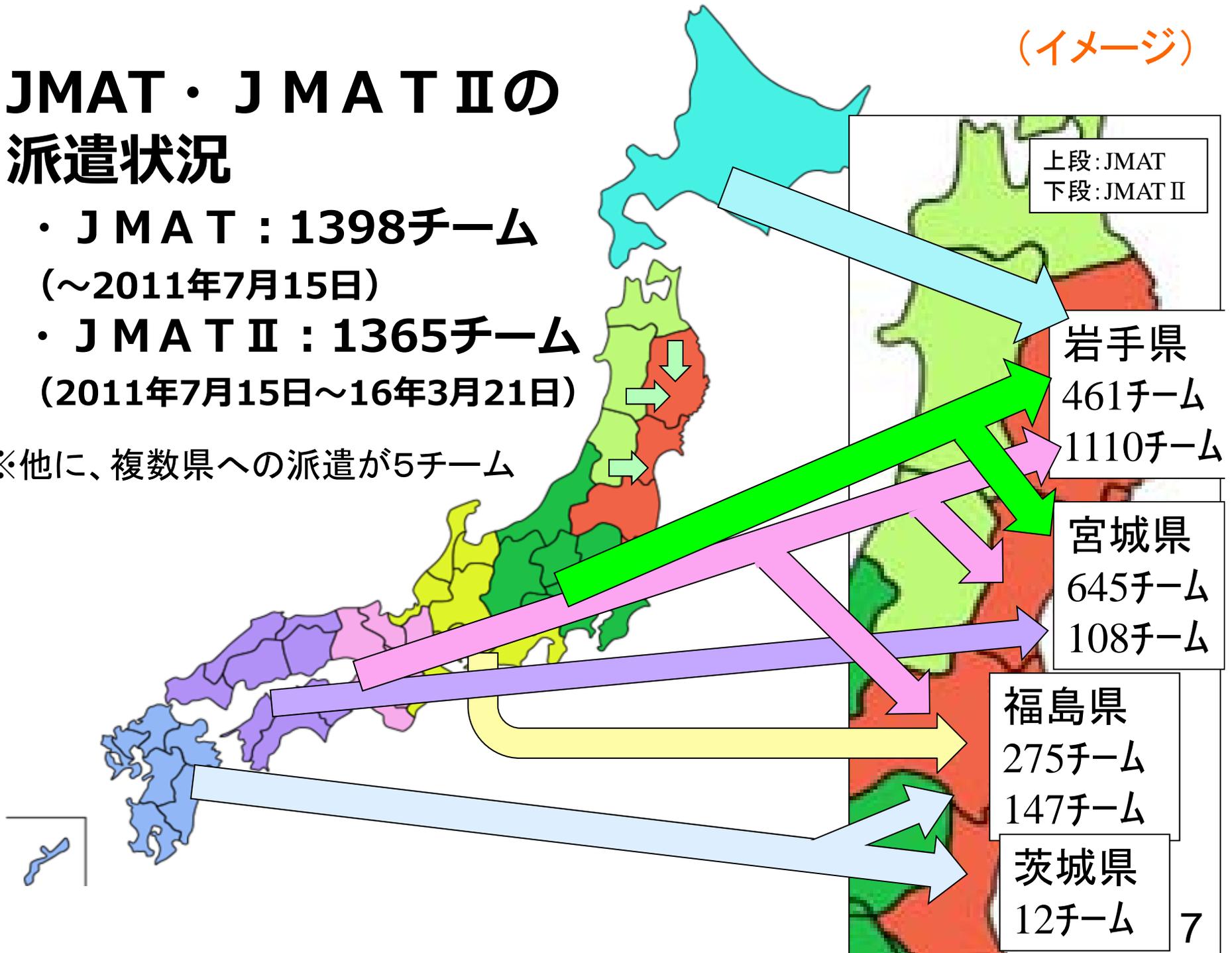
派遣期間は、日本医師会に届け出のあった出発日から帰還日まで。実際の被災地での活動期間ではない。

(イメージ)

JMAT・JMAT IIの 派遣状況

- ・ J M A T : 1398チーム
(~2011年7月15日)
- ・ J M A T II : 1365チーム
(2011年7月15日~16年3月21日)

※他に、複数県への派遣が5チーム



東日本大震災におけるJMAT、JMAT II の参加者数 (2016年3月21日)

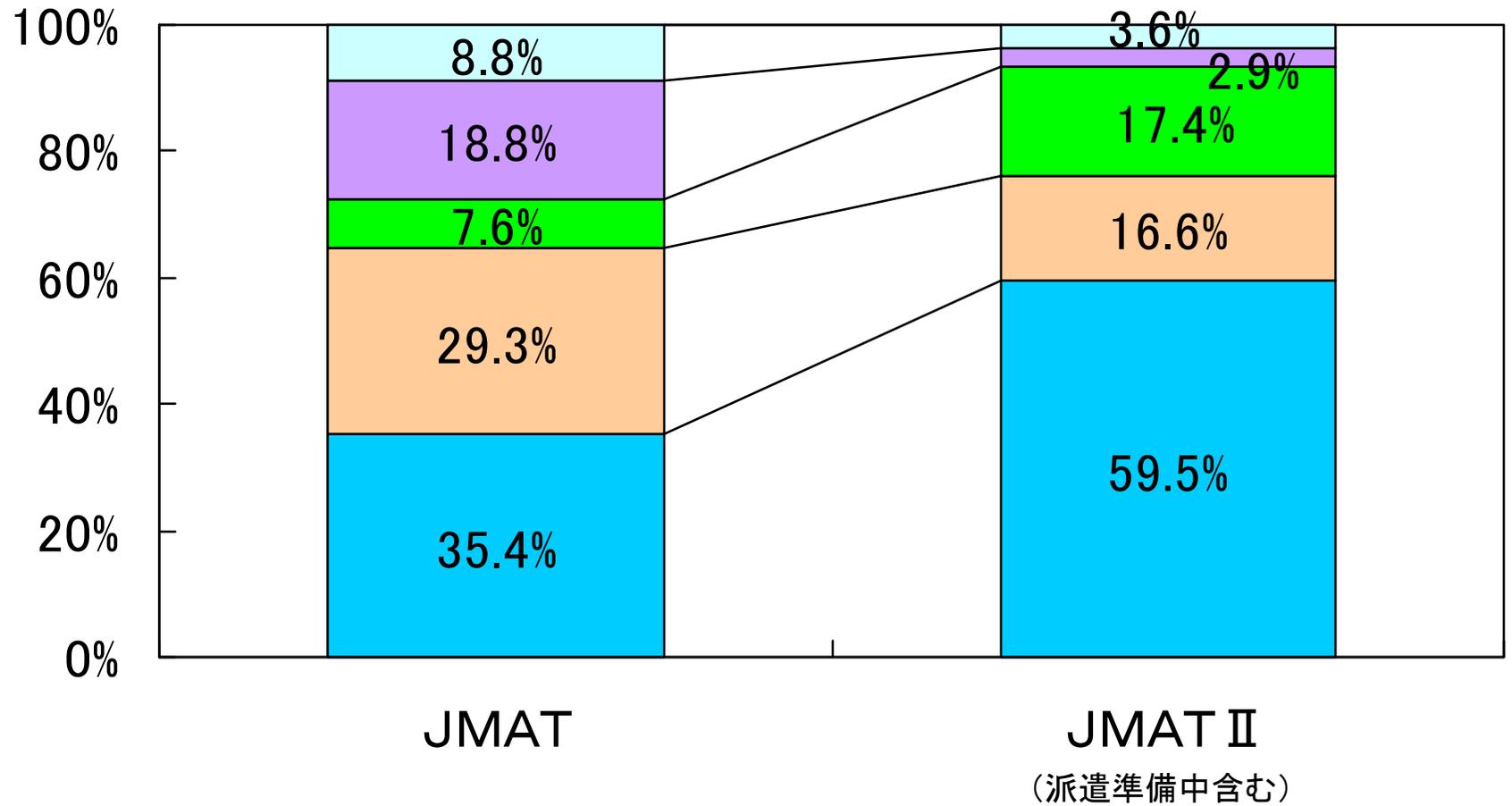
		JMAT	JMAT II	全 体
チーム数		1, 398	1, 365	2, 763
登録者数	医 師	2, 145	3, 912	6, 057
	看護職員	1, 775	1, 091	2, 866
	薬 剤 師	461	1, 146	1, 607
	事 務	1, 139	190	1, 329
	臨床検査技師、 その他	534	235	769
	合 計	6, 054	6, 574	12, 628

JMAT・JMAT II 参加者中、交通事故に遭遇し、傷害保険が適用された事例は4件・5名。うち1名は死亡例。

(派遣準備中含む)

東日本大震災におけるJMAT、JMAT IIの 参加職種割合(2016年3月21日現在)

■ 医師
 ■ 看護職員
 ■ 薬剤師
 ■ 事務職員
 ■ 臨床検査技師、その他



JMATⅡの現状

(2015年4月～2016年3月)

	岩手県 医師会	栃木県 医師会	総計
岩手			
陸前高田診療所	161		161
宮城			
公立志津川病院 南三陸診療所 (～11月29日)		4	4
総計	161	4	165

JMAT IIの現状

- 現在、JMAT II は、ほとんどが岩手県医師会が派遣する“JMAT岩手”。
- その主要派遣先は、岩手県知事、陸前高田市長の要請により、岩手県医師会が運営する「岩手県医師会高田診療所」。
- 高田診療所は、2011年8月、日赤の救護所、日本医師会からのトレーラーハウスを利用して設置。
- 高田診療所は、**2016年3月20日をもって閉鎖する予定**。県立病院への心療内科の支援は行われるが、県医師会がそのためにJMAT岩手を派遣する予定はない状況。



JMATⅡの今後の方向性

2010年3月にJMATの創設を提言した「救急災害医療対策委員会」では、本年3月9日に行った答申において、岩手県医師会陸前高田診療所の閉所をもって、東日本大震災におけるJMATⅡの活動を終了すること（＝東日本大震災JMAT活動全体の終了）を提案。



第12回日本医師会理事会（3月15日開催）において、**JMAT活動の終了を了承。**

東日本大震災後の主な取組

- 災害対策基本法上の「指定公共機関」の指定
- 「中央防災会議」の委員就任（被災者健康支援連絡協議会代表として）、傘下の会議等への参画
- 被災地復興、全国的な災害対策に向けた予算要望活動
- 被災者健康支援連絡協議会の開催
- J M A T 携行医薬品リストの作成
- 災害医療コーディネーター研修の共催
- 生涯教育カリキュラムへの災害医療の追加
- J M A T 研修、日医総研シンポジウム、Mass Gatheringに関する研修の開催
- I C S（インシデントコマンドシステム）の普及
- 日医総研による各ワーキングペーパーの作成
- 東京オリンピック・パラリンピック対策